資料１

パブリックコメントの実施結果

１．パブリックコメントの実施状況

美馬市都市計画マスタープランの策定に係り、幅広い住民の皆様からの意見を把握するために、次のとおりパブリックコメントを実施しました。

公表した案	美馬市都市計画マスタープラン（素案）
公表した場所	美馬市ホームページ
意見の募集期間	平成 29 年 10 月 23 日（月）～平成 29 年 11 月 13 日（月）

２．パブリックコメントにおける意見とその対応

パブリックコメントによる住民の意見提出は８件ありました。意見とその対応について次ページに整理します。

番号	提出されたご意見	対応	備考
01	以前のマスタープランの評価はされているのか。	今回が初めての策定となるため、今後の見直しなどにおいて評価していくこととなります。	変更なし
02	P14、平野部は瀬戸内型気候とあるが、山間部の多い本市は該当するのか。	瀬戸内型気候については、平野部に限定して記載しています。山間部については、気温の変動が大きいなどの表現にて整理しています。	変更なし
03	グリーンコンパクトシティとは、相模原市の定義と同じか。	人口減少・超高齢社会に対応していくためにコンパクト化を進めていき、水と緑を生かした計画であるという点では合致していますが、中山間地域の特性を生かした本市オリジナルのコンパクトシティの定義となります。	変更なし
04	美馬市のイメージからすると、コンパクトライナーズシティ（linear city）が良いのではないか。	本市は東西だけではなく、南北にも広がっている都市です。マスタープランも行政区域全域を対象としているため、多様な地域特性に応じて拠点化を行い、それらを結ぶ道路・公共交通ネットワークを整備することによって、効率的でコンパクトなまちづくりを進めることとしています。	変更なし
05	P41、公共交通に関する市民・事業所の役割が書かれているが、実際は難しいのではないか。	今後、少子・高齢化が進むと、車の運転ができなくなる人が増加し、公共交通利用の需要が高まることが予想されます。また、コンパクトシティをめざしていく上でも公共交通の整備は必要不可欠であるので、行政だけではなく、市民・事業者との協働により進めていかなくてはならない課題であることから、このように記載しています。	変更なし
06	P51、インダストリー4.0を意識した産業基盤の整備を記載してはどうか。	分野別構想の中で、産業振興施策と連携した高度情報通信基盤などの産業基盤の強化など関連した内容について記載しています。個別具体的な内容については、各課の個別計画で策定していくこととなるため、貴重なご意見として関係部局に連絡します	変更なし
07	地域産業のプラットフォームの構築が必要ではないか。	行政の役割として、地域産業のプラットフォームの構築について記載します（P51）。	追記
08	西部地域の重清地区に関して方針図に何も記載されていないが、産業立地や教育・福祉施設の充実がよって居住ニーズが高まると想定されるため、方針を記載してはどうか。	ご意見を踏まえ、西部地域のまちづくりの目標と方針、方針図に住宅地に関する土地利用の方針を記載します（P104）。	追記